

広報うえだ

平成22年(2010年)
No.95
3月1日号

- 2 都市宣言
- 4 産院建設に向けて
- 6 交流・文化施設
- 12 新しい財務書類
- 14 雇用の維持・創出
- 16 情報びっく・あつぷ
- 18 情報あ・ら・かると
- 23 キラリ☆輝くこどもたち!
- 25 情熱地域
- 26 四ツ葉スケッチ
- 28 四喜折々



上田市の「都市宣言」を制定しました

豊かで快適かつ幸せな暮らしを営むことは全市民の願いです。上田市ではその願いの実現を目指し、六つの宣言を行い、その宣言に基づきまちづくりを進めていきます。
この都市宣言の制定にあたっては、上田市自治会連合会をはじめとする各種団体の代表の皆さんによる慎重な審議を経て、その後3月市議会定例会で議決いただきました。

～誰もが、住んで良かったと実感できる快適なまちを目指して～

「ひともまちも健康で元気に 生活快適都市宣言」

誰もが、生きがいや豊かさを感じながら、生き生きと暮らしていくためには、スポーツ、保健、医療、福祉などを通じて「人が健康で元気」であるとともに、市民それぞれがまちづくりに取り組み、かけがえない自然を守り、循環型社会を築き「まちが健康で元気」であること、更に市民が生き活きと働き「産業が健康で元気」になることが必要です。
私たち上田市民は、一人ひとりの責任と市民協働により、住んで良かったと実感できる快適なまちを築くため、ここに「ひともまちも健康で元気に 生活快適都市」を宣言します。
(担当) ④政策企画課

～争いと核兵器のない平和な世界の実現を目指して～

「争いのない世界を願う 非核平和都市宣言」



世界の恒久平和は、全人類共通の願いです。

私たち上田市民は、平和を愛する各国の人々とともに、世界の平和が実現することを訴え、争いと核兵器のない世界を築くため、ここに「争いのない世界を願う 非核平和都市」を宣言します。
(担当) ④人権男女共同参画課

～お互いの人権を尊重し合えるまちを目指して～

「優しい思いやりあふれる 人権尊重都市宣言」



人は誰でも、一人ひとりかけがえのない存在として尊重され豊かに健康で幸せな生活を営む権利を持っています。
すべての人々の人権が保障されることは、誰もが幸せに暮らせるまちをつくる基礎となります。
私たち上田市民は、お互いを思いやり、相互の理解と協力と信頼により、人権が尊重され、誰もが誇りを持ち能力を発揮できるまちを築くため、ここに「優しい思いやりあふれる 人権尊重都市」を宣言します。
(担当) ④人権男女共同参画課

～地域全体で子育てを支えるまちを目指して～

「地域みんなで子育て 未来っ子輝く都市宣言」

子どもたちが夢と希望を持ち、健やかに育つ社会を築くことは、力強く発展するまちづくりの礎です。

仕事と家庭のバランスをとりながら子どもを安心して産み育てられる社会を築くことは私たちの使命です。

私たち上田市民は、子どもたちの笑顔があふれ、親が子育てに喜びを実感できるような家庭、学校、事業者、地域、行政みんなが手を携え、地域全体で子育て・子育てを支えることができるまちを築くため、ここに「地域みんなで子育て 未来っ子輝く都市」を宣言します。

(担当) ☎子育て・子育て支援課



～訪れた方へのおもてなしの心を大切にするまちを目指して～

「魅力と出会いが紡ぐ おもてなしの観光都市宣言」

上田市は、上田城に代表される真田氏の史跡や蚕(かいと)都上田として栄えた歴史的な遺産と、豊かな温泉や美しい自然など多彩な魅力を持ち多くの観光客が訪れるまちです。

訪れた方が、魅力との出会い、人とのふれあいで感動とやすらぎを感じ、上田を楽しんでいただくことが市民の喜びです。

私たち上田市民は、訪れる方を大切なお客様として一人ひとりが温かく親切におもてなしすることで交流が深まり、私たち自身の心まで温かくなるまちを築くため、ここに「魅力と出会いが紡ぐ おもてなしの観光都市」を宣言します。

(担当) ☎観光課



～自然や歴史に生まれ新しい文化の創造のまちを目指して～

「美しい自然と豊かな歴史に学ぶ 文化創造都市宣言」

上田市には、人々に様々な恵みを与えてきた豊かな自然があふれ、また、先人から継承された独自の文化や伝統、誇りある歴史が息づいています。

歴史と伝統を学び、これらを受け継いで新たな文化を創造していくことや、豊かな自然について学び、これを守っていくことは、私たちの使命です。

私たちが享受し、かつ創造する文化は、癒(いよ)しと勇気を与え、生きる力をもたらし、まちの魅力と個性を作り出します。

私たち上田市民は、一人ひとりが担い手となり、美しい自然を守るため、そして誇りある歴史に学び、文化の薫るまちを築くため、ここに、「美しい自然と豊かな歴史に学ぶ 文化創造都市」を宣言します。

(担当) ☎文化振興課



市民と共に創る上田市産院へ 建設に向けて市民ワークショップ

現在、市では平成23年度末の開設に向けて、上田市産院の移転新築事業に取り組んでいます。昨年10月には村田昌功医師が医療政策参事として着任し、産院での産科医療と共に、新たな産院のあり方や、地域全体の周産期医療体制について検討を深めてきました。

建設を進めるにあたり、村田医療政策参事に「新たな産院づくり」について、その方向性を聴きました。

産婦人科の単科病院である上田市産院は、安全で適性な医療を提供する必要があります。このため、長野病院の小児科や麻酔科と密接に連携することができる、隣接地への移転を昨年12月に決定しました。

そこで、より大勢の皆さんから愛される産院をめざして、市民の皆さんと共に考える、「市民ワークショップ」を開催します。

I 地域の現状とこれからの施設のあり方

上田地域では、医師や助産師など医療スタッフの数が不足しています。このため、地域内で必要とされる分娩取扱数の確保に向けて、医療スタッフの充実と活用を長野病院と共に推し進めなければなりません。

II 産院に求められるもの

地域の周産期医療体制のなかで、新たな産院が中・長期的に求められる役割

は、長野病院と民間診療所の中間的な診療です。

それらの診療を安全で適正な医療管理のもとで行い、可能な範囲で、特色ある分娩を希望する妊婦さんにも診療を提供することです。

そのためには、長野病院の高次医療を効率的に活用すると共に、他の医療機関が信頼して利用いただけるよう、適切な構造と機能レベルが備わっていないければなりません。

また、妊娠中や分娩後の癒しのエリア、女性の健康維持・増進のための快適な空間としてとらえることも重要です。

少し飛躍しますが、間もなく完成する総合保健センターや市内各地に設定されているウォーキングコースを活用して、医療的相乗効果を期待

した構想も考えられます。

更に、10年・20年先を見据えた医療政策の展開を考えると、女性の予防医療や他のサービスニーズも高まると考えられます。

III 新産院の建設に向けて

これからも産院では、人が健康で元気なまちづくり、「子育てするな上田市で」を目指し、周産期医療を中心とする産婦人科診療を担っていきます。

今後、新たな産院の建設に向けて、地域内外から注目されるより良い施設を創り上げていきたいと思っておりますので、皆さんと一緒に大いに考えましょう。

新たな産院づくりは 人づくり・まちづくり

村田昌功

政策企画局医療政策参事
(産院副院長)



むらた・まさのり ●秋田大学医学部卒、医学博士。秋田大学医学部附属病院を中心に沖縄県立病院でも産婦人科の立て直しに尽力。「サマーウォーズの里うえだ」に魅せられて、昨年10月9日付けで産院に着任。



新産院建設のワークショップ参加者募集要領

市民の皆さんの思いや夢、要望・アイデアを設計に生かし、「市民と創る上田市産院」を実現したいと考えています。専門的なことは、村田昌功医師や医療スタッフ、市の建築課職員がサポートします。小さなお子さんのいるお母さんも、安心して参加できるよう託児を用意しますので、お気軽にご応募ください。

- ワークショップの期間 4～7月まで、おおむね6回程度
- 応募資格 上田市民の方で、新産院の建設に興味のある方(報酬等はありません)
- 募集定員 50名程度(応募多数の場合は選考させていただきます)
- 応募方法 応募用紙に「住所・氏名・年齢・電話番号、応募理由等」を書いて、封筒の表に「ワークショップ応募」と明記のうえ、郵送(〒386-8601/住所不要 上田市産院建設準備室)または直接提出してください。
- 応募用紙 市役所総合案内・秘書課・産院建設準備室・健康推進課、各地域自治センター、産院、市民プラザ・ゆうにあります。上田市ホームページからもダウンロードできます。
- 応募締切 3月16日(火)。郵送の場合は当日消印有効。

☎ 市産院建設準備室 TEL23・5249



ワークショップとは

もとは「仕事場」などの意味があり、参加者が自主的に活動する講習会のことです。

お知らせ

内科・小児科 初期救急センターが開設されます

4月24日から、現在の小児初期救急センター内で内科診療も行います。すべての年齢の方が、夜間の急な症状の時にご利用いただけるようになります。

救急車を呼ぶほどではない突発的な発熱、はげしい嘔吐や下痢、急な腹痛などで翌日まで待てない症状の時にご利用ください。

●電話受付時間 19:00～22:30
(TEL21・2233)

●診療時間 20:00～23:00

写真撮影方向



産院建設予定地。右奥に見える建物は、長野病院の病棟。建設予定地は長野病院の北西側に位置し、現在、駐車場として利用されている場所。上田地域広域連合の所有地。

市民が集い、文化芸術の薫る まちづくり拠点の整備に向かって 交流・文化施設等整備計画を策定しました

交流・文化施設等
整備検討シリーズ

Vol. 6

市では、J-T開発地(天神三丁目)に計画している、交流・文化施設等の整備について、「交流・文化施設等整備計画」を策定しました。この計画は、「交流・文化施設等整備検討委員会」検討結果報告書の内容を尊重しつつ、市で運営管理や事業計画等の方針を加えて策定したものです。

また、本年1月には、この計画内容等を市民の皆さんにご説明し、ご意見・ご提言等をお聞きするため、「交流・文化施設等整備計画説明会」を開催しました。

シリーズ6回目となる今回は、整備計画の内容(概要)と、施設整備が市財政に与える影響、そして説明会の開催状況等についてお知らせします。



写真提供：日本フィルハーモニー交響楽団

交流・文化施設等 整備計画(概要)

■事業計画

新しい交流・文化施設で行われる予定の様々な事業・活動内容について、市民の皆さんが参加したり、体験したり、活用したりする活動の例としてご紹介します。

こころの豊かさのために (すべての世代の方々へ)

●様々な公演・展示が楽しめます
これまでの上田市では少なかった、様々な舞台芸術公演や美術展示などをお楽しみください。

●各種の講座やワークショップ (参加・体験型講座)で新たな 世界を体験

文化芸術にかかわる各種の講座、演技の体験、珍しい楽器の演奏、身近な素材を用いた美術作品製作の体験講座など、はじめての人も、文化芸術の新たな扉を開いてください。

●公演や展示、イベントなどを 自らの手で

上田市をテーマにした市民ミュージカルや屋外イベントなどを、出演者として、また裏方として、一緒に創造していきましょう。
新たな自己表現や、出会い・交流の場となります。



●文化芸術を、気軽に楽しく、生活のなかに

昼の時間帯に1時間程度で楽しめるコンサート、小さいお子さんを連れたる芸術鑑賞など、それぞれのライフスタイルに合った、「気軽」で「身近」な文化芸術をお楽しみください。

●知的により深く味わいましょう

ホールの裏側をのぞくバックステージツアー、学芸員による展示紹介ツアーなど、ど

き、わくわく、皆さんの好奇心を刺激します。単に公演や展示を見るだけでなく、とどまらない、新たな発見や感動が得られることでしょう。

●文化芸術を

「お届け」します

教育や福祉の場へ、アーティストやスタッフが出かけます。

演劇やダンス指導、音楽療法や演劇療法など、身近な場に文化芸術が訪れることで、新たな体験が広がります。

施設やスタッフが積極的に活用してください。



原田泰治の世界展 in 上田

子どもたちの未来のために

●子どものときから

文化芸術を身近に

芸術鑑賞会や屋外イベントなどで、地域の宝である子どもたちが文化芸術に触れる機会を増やします。子どもたちの豊かな心を育てましょう。

●新たな価値観に

出会える場となります

あまり見たことがない現代劇や海外の民族音楽など、驚きや感動に満ちた新たな世界との出会いが、子どもたちの感性を磨きます。

●一人で、親子で、文化芸術を

「体感」してください

子どもたちが親と一緒に音楽・演劇・美術を楽しんだり、一人でものづくりに挑戦します。芸術活動やものを作ることが体感することで、新たな喜びを発見することでしょう。

●外でも楽しく、元氣いっぱい!

施設の外には広々とした芝生広場とにぎわいの空間が広がります。ご家族そろって楽しみましょう。

文化活動を行う方々へ

●何でも相談してください!

日常の文化活動における課題、指導者紹介、類似団体との交流など、何でも相談できる窓口を設け、文化活動の継続と向上を支援します。また、新しい舞台機構・設備を用いた効果的な演出方法など、施設をより有効に使っていただき魅力的な公演・展示ができるようお手伝いします。

●文化芸術による自己表現を

合唱・アンサンブル・バンド向けの練習室、ダンスの練習に使えるり



写真提供：ワンダーアートプロダクション

ホール室、美術活動を楽しめるアトリエ、伝統文化に対応した和室など、様々なジャンルの文化活動にご利用ください。

地域の活性化のために

●様々なコンベンション利用を

大会・総会・式典・講演会・説明会・会議・展示など、各種団体や企業の皆さん、この施設を大いにご利用ください。施設が持つ様々な機能により、コンベンション利用の可能性が広がります。

●昼も夜も、常に人が集う場を

目指します

時間帯や曜日を設定せず、わいわい、がやがや、常に人が訪れる、にぎわいの空間を目指します。



■施設整備計画

前ページで紹介したとおり、新しい、そして市民だれもが楽しめるような様々な事業を行っていくための拠点施設として、新しい交流・文化施設の整備内容は、現在のところ次のように計画しています。

■基本的な考え方

文化芸術は、人間の感性を磨き、生きる支えになるなど、それ自体に価値があると同時に、地域活動のあらゆる側面に好影響を与える存在であり、市民生活になくてはならないものといえます。

心のゆとり、豊かさが求められる今日、上田市においては、文化を基調とする独自性を生かして自立的に発展していくことが求められています。施設の拠点施設という意味においては満足度が高

いとは言えない状況にあります。

交流・文化施設等の整備はこうした状況をチェンジする絶好のチャンスととらえ、他の公共施設や文化施設との役割分担と連携を図りながら、地域の文化力や魅力を充実、アピールするものです。

また、地域の歴史的・文化的資源を生かし、将来を担う子どもたちの育成、教育や福祉・医療面との連携による行政効果のほか、大きな経済波及効果をもたらす施設として、心豊かな市民生活と都市創造を同時に実現できるものと考えています。

■基本理念

「人にやさしい 夢と未来を紡ぐ 創造都市うへだ」の実現

基本理念を実現するため、「育成」を基本に、「鑑賞」「創作」「交流」等の様々な活動が行われ、「文化」が、「人」が、そして「まち」が豊かにはぐくまれるための拠点として活用される施設を目指します。

特に、次世代を担う子どもたちを良質な文化的な生活環境の中で、心身ともに健やかに育てていくことは、私たち大人が真剣に取り組まなければならないことと考えています。

■施設の規模・機能

現時点での各施設の規模・整備内容・建設費の見込み(上限値)は、表①のとおりです。

表① 施設の規模・内容・建設費

施設名等	内 容	建設費
大ホール	1,700席程度の多目的ホール	55億円
小ホール	市民が使いやすい300席程度のホール	10億円
美術館	2,500㎡、常設・企画展示室、ギャラリー、アトリエ等	15億円
交流部門	2,400㎡、リハーサル室、多目的ルーム、練習室、会議室等	10億円
管理部門	3,000㎡、共用部分を含む	10億円
建物全体	延床面積 17,000㎡	100億円
緑地広場	18,000㎡、芝生・交流広場、桜並木等	5億円
その他	調査設計費、用地取得費、現上田市民会館解体費	30億円
	全体事業費	135億円

また、これらの施設を整備するための財源の見込みは、表②のとおりです。

あわせて、現在積立を進めている「上田市交流・文化施設基金」(平成22年2月末現在4億1100万円)も施設の建設時には有効に活用し、一般財源や合併特例債の軽減を図つ

表② 施設建設費の財源見込み

まちづくり交付金	14億円	
合併特例債	111億円	後年度交付税措置 78億円
一般財源	10億円	(一部基金充当見込み)
合計	135億円	(市の負担見込額 43億円)

ていく予定です。さらに、現在ふるさと寄附金(納税)制度にもメニュー設定し、寄付金の呼びかけも行っています。

■具体的な規模等は設計段階で判断

各施設の具体的な規模(詳細な面積・座席数等)、構造等の決定は、今後基本設計等を進めていく中で、さらに建設費の節減等にも留意しながら、慎重に判断していきます。

■運営管理計画

施設の運営・管理にあたっては、基本理念と目標に基づいた事業展開を、積極的かつ効率的に実践できる組織・体制づくりが重要であると考えており、現時点での基本的な方向性と、運営・管理等にかかる経費の見込みは次のとおりです。

今後、施設の基本設計とあわせて、運営・管理についても、専門家等の意見も聞きながら、より具体的な計画を策定していきます。

■基本方針

- ①ホール・美術館への専門人材の配置
 - ②地域への施設運営ノウハウの蓄積
 - ③事業の継続性・発展性に配慮した体制づくり
 - ④事業展開がしやすい体制づくり
 - ⑤市民の皆さんとの協働
 - ⑥企業メセナの活用
- に留意し取り組んでいきます。

■運営管理費の見込み

他施設の事例から試算した結果、運営管理費(収支)は表③のとおり見込まれます。

文化芸術の振興を目指して、様々な活動を行う本施設は、多方面にわたる行政的・経済的波及効果ももたします。

したがって、本施設で将来的に見



イラストはイメージです

込まれる経費は、単に財政的な負担を増やすものではなく、地域の活力を創出するための未来に向けた公共投資であり、そして何よりも市民の皆さん、特に将来を担う子どもたちのために必要な投資であると考えています。

また、維持管理等の経費については、今後の設計段階で、効率的な資源利用や太陽光発電などによる省エネルギーへ配慮した、環境にもやさしい施設づくりや、管理しやすい施設配置などの工夫により経費の軽減に努めると共に、市民ボランティアの協力など効率的な事業展開・運営ができる体制づくりにも努めていきます。

表③ 運営管理費試算表 (収支試算表)

項 目		年間金額
支出	維持管理費(建物全体)	2億3,000万円
	自主事業費(ホール・美術館)	5,000万円
	人件費(ホール・美術館計20名程度)	1億円
	支出合計	3億8,000万円
収入	利用料収入(建物全体)	4,000万円
	事業収入(ホール・美術館)	3,000万円
	収入合計	7,000万円
負担額(収支差)		3億1,000万円
現施設(上田市民会館、山本鼎記念館)の維持管理経費		△8,000万円
実質負担増加額		2億3,000万円

■地域・施設等との連携

事業展開と運営管理を行う上で、①施設内の連携、②施設周辺部との連携、③関連各所との連携、④既存施設との連携、また役割分担を図りながら、より効率的・効果的な運営を行い、文化芸術の振興面のみならず、地域の振興・活性化に寄与する施設とします。

■市民との連携・協働

文化芸術団体や市民の皆さんにも、施設を利用するだけでなくボランティアなどで運営管理面への協力

をお願いし、市民と共に歩む施設として取り組みます。

■整備スケジュール(予定)

- 平成22・23年度 基本設計、実施設計
- 平成24・25年度 建設工事
- 平成26年度 開館

以上、整備計画の概要をお知らせしました。

次のページでは、説明会の中でお示しした、市の財政的な見通し(地方債残高の推移と見込み)について説明します。



交流・文化施設等整備計画書

地方債残高の推移と見込み

交流・文化施設整備を、学校整備や道路整備など他の必要なハード整備と一緒に進めていった場合の、市の財政的な見通しについて、特に地方債(市が借りているお金)残高の視点からお知らせします。

現在の厳しい経済情勢や、国で制度見直しなどが進められていることもあり、財政的な推計ができていない状況ではありますが、これまでの推移を踏まえながら、合併特例債という有利な地方債を主要財源として各種事業を見込み、現時点で可能な範囲で推計しました。

■これまでの状況

平成元年以降、合併前の旧4市町村では、バブル経済崩壊後の経済対策や新幹線・高速道への対応などもあり、各種大型事業を積極的に実施してきました。その結果、地方債残高も急激に増え、平成15年度にピーク(842億円、A点)を迎えました。

その後は、一定規模の投資は行いながら地方債の返済にも努めることとし、平成18年の新上田市発足後3年間は、新市の未来を見据えた基礎固めの期間ととらえ、地方債の早期償還を進め、今年度以降の成長・発展期に向けて準備を進めてきました。

こうした取り組みの結果、平成20年度末では、ピーク時に比べ155億円少ない、687億円(B点)となっています。

また、この地方債の返済時には国から地方交付税で返済額の一部が措置されます。その割合は地方債の種類によって異なりますが、今後の主要財源とする合併特例債では、国の交付税措置は70%であり、もっとも有利な制度であるといえます。

こうした有利な地方債を積極的に活用することにより、市の実質的な負担も大幅に軽減され、市民一人当たりで換算すると平成15年の約26万円から、20年には約17万円と、約9万円もの減額となっています。

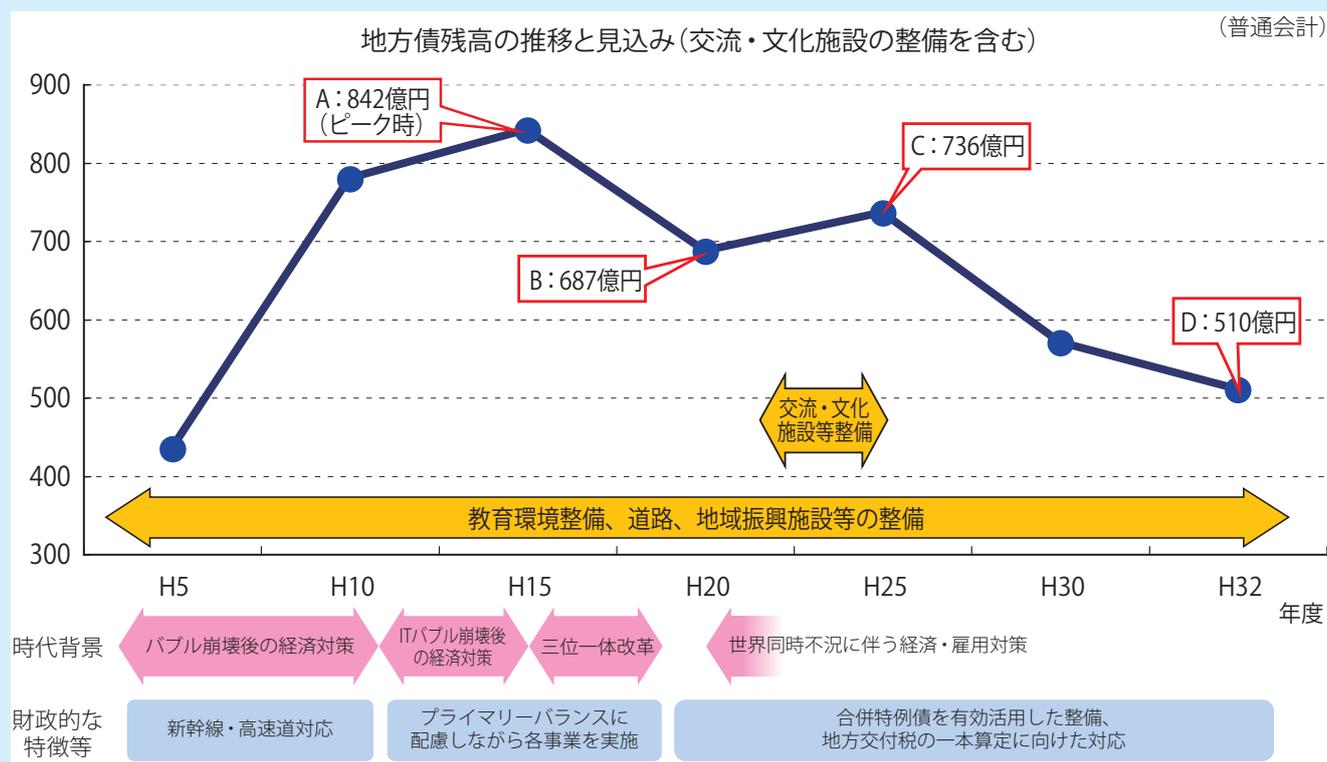
■今後の見込み

今後の主な事業の見込みとしては、上限を135億円としている交流・文化施設等の整備のほかに、合併特例債が活用できる平成27年度までに、産院や、保育園、学校といった子どもたちをはぐくむ施設の整備に重点的に取り組む予定です。特に学校施設に対しては、子どもたちの安心・安全の確保のため耐震化率100%に向けて、平成27年度までに約100億円をかけ完了する財源見通しを立てています。

また、地域の特色を生かす、地域自治センターや図書館などの整備、そのほか必要な道路などのインフラ整備も順次実施していく見込みです。

こうした事業を平行して進めた場合、地方債残高も平成25年をピークに一時的に上昇しますが、過去のピーク平成15年度(842億円)に比べて106億円少なくなっています。その後順次減少し、合併の特例が終了する32年度末には510億円が見込まれ(D点)、以後さらに減っていくことが見込まれます。

こうしたことから、今後も健全財政維持に留意し、合併特例債等の計画的な発行に努めていけば、現在の地方財政の枠組みが維持される限り、現在の上田市には、この事業を教育環境整備など他の行政課題と平行して取り組んでいかれる体力があるものと考えています。



交流・文化施設等 整備計画説明会の開催結果

交流・文化施設等整備計画説明会は、計画の内容と、市の財政的な見通しについて市民の皆さんに直接ご説明し、今後の設計や建設、そして施設の運営や利活用に向けた意見などをお聞きするため開催しました。ここでは、その開催結果の概要をお知らせします。

■開催状況

1月7日(木)～26日(火)の間、市内各地域において計10回開催し、延べ378人の皆さんに参加いただきました。



イラストはイメージです

■主な意見の内容

ホールについて

まず、大ホールの席数について、「一流の芸術に触れるためには、1700席では少ない」、「学校の吹奏楽など、地区大会や県大会を開催するためにも1700席は必要」、「市内の子どもたちが学年ごと(1500～1700人)に集まれる施設が必要」、「大規模な大会や集会を開催できれば大きな経済効果がある」など、計画している規模への賛成、あるいはさらに大きな規模を希望する意見が出される中、「現上田市民会館の規模(1330席)や利用状況、また市の財政状況を踏まえると大き過ぎる」といった、慎重なご意見もいただきました。

小ホールについては、音響に配慮した固定席を望む声、また、多目的に使えるよう平土間式の構造を望む声の両方をいただきました。

美術館について

美術館の必要性については、「子どもたちの情操教育のためにも美術館は必要」、常設展示のあり方については、「山本鼎や石井鶴三らの作品などを展示し、作家を顕彰する必要がある」などの意見が多く、事業の展開については、「創作や見学、出張展示などの参加体験型事業」を望む声を多くいただきました。

事業費、運営管理費、 市財政などについて

整備事業費等については、「この施設を建設しても市財政に支障はないと理解した、早期着工と完成を望む」、「合併特例債の期限等を考える」と最後のチャンス」など、施設整備に賛成の意見のほか、「135億円という事業費は多過ぎる、雇用対策や医療・教育環境整備を優先すべき」、「建設費や運営管理費の節減に最大限の配慮をすべき」などのご意見もいただきました。

■いただいた意見について

このほかにも、市民ボランティアの活用、専門職員の積極育成と配置、周辺の交通対策など、多岐にわたるご意見をいただきました。

これらの貴重なご意見を設計や、運営管理計画に反映させていただきます。そのためには設計等の段階において、専門家の意見も聞きながら、さらに具体的な判断材料を市民の皆さんにお示しする必要がありますので、今後もそれぞれの段階において、説明責任を果たしながら、市民と共に歩む施設づくりを進めたいと考えています。

整備計画書の全文は、上田市ホームページ、各地域自治センターや公民館の行政資料コーナーでもご覧いただけます。

交流・文化施設に関するご意見・ご要望、また整備計画書の配布を希望する方は、交流・文化施設建設準備室までご連絡ください。

☎ 交流・文化施設建設準備室
Tel.23・5219



上田市の新しい財務書類を公表します

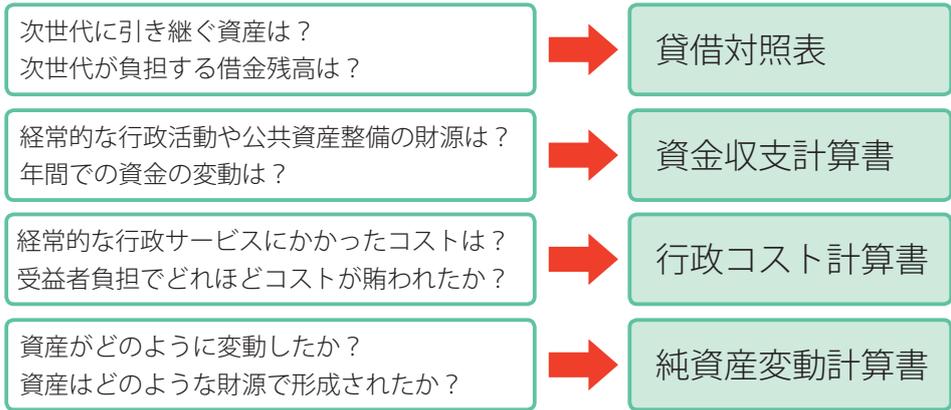
新地方公会計制度に対応した財務諸表の公表

市では、財政状況をよりわかりやすく市民の皆さんにご理解いただけるよう、資産や負債、費用に関する情報をお知らせしています。

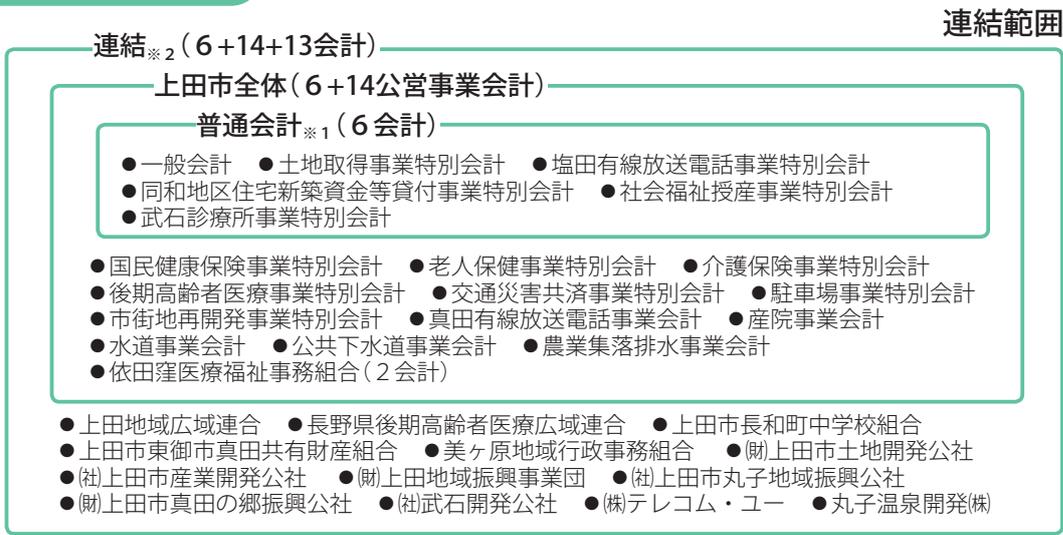
現在の公会計制度(現金主義)では、その年度にどのような収入があり、それをどのように使ったかといった現金の動きがわかりやすい反面、市が整備してきた資産や借入金などの負債といったストック情報や行政サービス提供のために発生したコスト情報の不足といった課題がありました。

これらの課題を補うため、企業会計的(発生主義)な手法を取り入れた「新地方公会計制度」に基づく財務書類を作成しました。国の示す「総務省方式改定モデル」による新しい財務書類4表と共に、企業会計や広域連合、土地開発公社などの市の出資法人を一つの行政サービス実施主体ととらえた連結財務書類も作成しました。

この疑問は、この「財務書類」を見ればわかる！



連結の財務書類



※1 普通会計とは、自治体間の財政比較を行うために全国で統一して用いられている会計区分のことです。
 ※2 連結では、上田市全体・広域連合・一部事務組合・地方三公社・市が50%以上出資している第3セクター等を対象としています。

連結貸借対照表

保有している資産と債務を対照表示した一覧表です。
 これまで5,070億円の資産を形成してきました。そのうち、純資産である3,184億円は過去及び現世代の負担で既に支払いが済んでおり、負債である1,886億円は将来の世代が負担していくことになります。
 平成21年3月31日現在

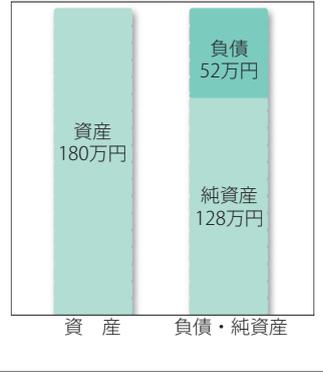
資産	5,070億円	負債	1,886億円
【これまでに形成された資産】		【将来世代の負担】	
①公共資産(学校、道路、公園など)	4,670億円	①地方債	1,645億円
②投資等(基金、出資金など)	188億円	②退職手当・賞与引当金	161億円
③流動資産(現金など)	212億円	③その他(未払金など)	80億円
(うち資金)	(185億円)	純資産	3,184億円
		【過去及び現世代の負担】	

現金収入が増加したことから資産は増加しました。一方、地方債残高が減少したことから将来世代の負担である負債は減少しました。

また、経常的な収入がコストを上回っているため、収入の範囲内で行政サービスを提供できていることがわかります。

- これまでに形成された資産 2,877億円(前年比4億円増)
- 将来世代が負担する債務 831億円(前年比32億円減)
- 過去及び現世代の負担済み額 2,046億円(前年比36億円増)
- 行政サービスにかかったコスト 482億円
- 次年度への繰越金 35億円

貸借対照表を市民一人あたりの金額に置き換えてみると



貸借対照表

保有している資産と債務を対照表示した一覧表です。
上田市では2,877億円の資産を形成してきました。そのうち、純資産である2,046億円は過去及び現世代の負担で既に支払いが済んでおり、負債である831億円は将来の世代が負担していくこととなります。

平成21年3月31日現在

資産 2,877億円	負債 831億円
【これまでに形成された資産】	【将来世代の負担】
①公共資産(学校、道路、公園など) 2,629億円	①地方債 687億円
②投資等(基金、出資金など) 153億円	②退職手当・賞与引当金 143億円
③流動資産(現金など) 95億円	③その他(未払金など) 1億円
(うち歳計現金) (35億円)	純資産 2,046億円
	【過去及び現世代の負担】

資金収支計算書

1年間の資金の増減を性質別に表しています。
資金は、1年間で14億円増加し、期末残高が35億円になりました。経常的収支の黒字でその他収支の赤字を賅っています。

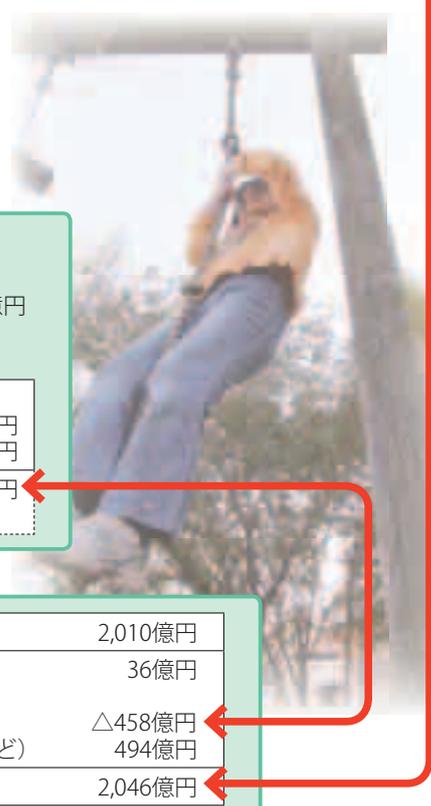
期首資金残高	21億円
当期収支	14億円
【内訳】	
①経常的収支	150億円
②公共資産整備収支	△31億円
③投資・財務的収支	△105億円
→ 期末資金残高	35億円



行政コスト計算書

1年間の行政サービスにかかったコストと財源を表しています。
20年度のコスト総額は482億円です。
使用料や負担金などの受益者負担は24億円です。差引の純経常行政コストは458億円となっています。

経常行政コスト 482億円	経常収益 24億円
①人にかかるコスト(人件費など) 101億円	①使用料など 18億円
②物にかかるコスト(物件費など) 135億円	②負担金など 6億円
③移転支的コスト(社会保障給付など) 228億円	純経常行政コスト 458億円
④その他のコスト(支払利息など) 18億円	(市税などの一般財源)



純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の1年間の変動額を表しています。
純資産は、1年間で36億円増加し、期末残高が2,046億円になりました。市税などの経常的な一般財源が純経常行政コストを上回っているため純資産が増加(将来世代の負担が減少)しました。

期首純資産残高	2,010億円
当期変動高	36億円
【内訳】	
①純経常行政コスト	△458億円
②財源調達(市税、補助金など)	494億円
→ 期末純資産残高	2,046億円

※数値は平成20年4月1日～21年3月31日のもの

地域経済の活性化と 雇用の維持・創出に取り組んでいます

いまだに出口の見えない世界同時不況は、上田地域の景気・経済にも深刻な影響を及ぼしています。

上田市では、平成20年12月に「上田市緊急経済・雇用・生活対策本部」を設置し、地域経済の下支えと雇用の維持・創出に向け市を挙げて取り組んでいます。対策本部を中心に、地域での仕事を確保し、企業などでの雇用維持と新たな雇用を創出する市独自の取り組みのほか、市民生活の安定のための支援策を国・県の経済対策予算も活用し進めてきました。

1 地域企業・事業者への支援

地域経済を支えていくためには、地元企業・事業者が活力を持って事業活動を行っていたことが重要です。そのため市では、公共事業等の前倒し発注や、地域での消費拡大を図るための事業のほか、中小企業の円滑な資金調達支援に取り組んでいます。

2 雇用の維持・創出

企業・事業者への支援と共に、市民生活の基礎である「働く場の確保」も重要な課題です。昨年4月に設置した雇用促進室では、市内企業での雇用の維持・創出を支援し、安心して働くことができる環境づくりに取り組んでいます。

中小企業の資金繰り支援

(6億5400万円)

- ・ 中小企業融資制度の融資限度額拡大
- ・ 信用保証料補助や利子補給の拡大
- ・ 融資手続きの簡略化・迅速化

公共事業等の前倒し発注や消費拡大を図る事業

(約56億円)

- ・ 道水路、公共施設整備などの前倒し発注
- ・ 定額給付金、子育て応援特別手当事業
- ・ プレミアム商品券の発行補助
- ・ 新型インフルエンザ対策備蓄品購入
- ・ 小中学校への地上デジタル放送対応テレビや電子黒板の導入ほか

雇用を維持する取り組み

(198万円)

市と商工団体が連携して、雇用調整助成金の対象となる教育訓練を実施。これまでに32回、延べ2200人が参加し、企業に対し国から約1300万円の助成金が支給されました。企業は自前で教育訓練を実施するより負担が軽減され、雇用の維持にもつながっています。市では、この教育訓練への補助をしています。

専門コーディネーターの配置

社会保険労務士の資格を持つ雇用促進コーディネーターが企業を訪問し、企業

活動・雇用状況の把握や、市の支援策の紹介などを行っています。

新規雇用を喚起する取り組み

(8640万円)

離職者を正社員として新規雇用した企業に、一人あたり30万円を助成する「雇用創出奨励金」制度を県内で初めて創設し、新規雇用の創出を図っています。これまでに91社156人分の申請がありました。

求職者の技能習得を支援

(500万円)

再就職にあたり必要な技能を習得するための講習受講料を補助しています。補助対象となる講習は、「小型移動式クレーン運転技能講習」「フォークリフト運転技能講習」「玉掛け技能講習」「床上式クレーン運転技能講習(今年4月から対象)」です。

これまでに66件の申請があり、うち19人が製造業、運輸業、建設業などの分野を中心に再就職しています。



フォークリフト運転技能講習の様子

◆雇用対策制度を利用した 事業主の声

●サービス業A社

「新分野での事業展開を考えていたので、一歩踏み出すきっかけになりました。この雇用創出奨励補助金のおかげでいい人材を採用することができました」

●製造業B社

「商工会議所が開催した従業員スキルアップ支援セミナーを受講しました。休業補償分に加えて教育訓練分の助成金を受けることができました。現場の改善や生産性向上を意識するなど社員の考え方が変わってきています」

3 就業機会の提供

現下の不況の影響で離職を余儀なくされた方々の生活の安定を図り、次の雇用までの臨時的な就業機会を提供する事業を実施しています。

市が事業主体となって実施するこれらの雇用創出事業は、県が国の交付金で造成した基金も活用しています。

市では平成22年度においても引き続き当事業を実施し、就業機会の提供を図っていきます。

就業機会の提供(平成21年度見込み)

■市が離職者を直接雇用

- ・雇用人数／175人
- ・総事業費／8300万円
- ・主な事業／不法投棄防止パトロール、公園遊具の維持補修、保育園等環境整備ほか

■市から委託を受けた事業者が、離職者を雇用して行う事業

- ・雇用人数／290人
- ・総事業費／1億4600万円
- ・主な事業／アレチウリ等の駆除、道路標識やカーブミラーの点検調査、松くい対策間伐、学校図書館蔵書データベース化 ほか

市の臨時雇用により求職中の生活を支えることができました

■市内在住の42歳男性

(公園管理事務所で平成21年11月～22年2月まで勤務)

3年間勤務していた会社を昨年3月に解雇されました。ハローワークに通いましたが条件に合う仕事が見つからず、雇用保険と取り崩した貯金で生活してきました。そんな折、市の緊急雇用創出事業を知り、11月から公園管理事務所で働くことになりました。

仕事は公園の維持管理や施設の整備などです。毎日朝9時から午後4時まで、市内各地の公園の遊具の再塗装や修繕などをしてきました。野外での仕事に慣れるまでは苦勞もありましたが、当面の収入を得ることができ助かりました。

毎日の仕事を終えてから職探しのためのハローワーク通いを続け、この3月から北信方面の食品関係の会社へ就職が決まり、家族ともどもホッとしています。



公園遊具の塗装作業の様子

4 生活にお困りの方への支援

市役所の各窓口で「市民生活相談窓口」を開設し、生活にお困りの方が早期に生活再建できるよう、市が実施している各種対策事業を紹介し、相談に応じています。そのほか、国や県あるいは関係機関の支援などの情報提供も行っています。お気軽にご相談ください。

主な生活支援

- ・収入減少世帯の保育料減免や就学援助
- ・住居を喪失した離職者の住居費負担の軽減や住宅のあつせん
- ・社会福祉協議会「たすけあい資金」の助成 ほか

主な相談内容と相談窓口(市役所、上田市教育委員会やぐら下庁舎)

相談内容	窓口
中小企業融資に関する相談	商工課 TEL23・5395
職業訓練、雇用創出奨励金、雇用調整助成金に関する相談	雇用促進室 TEL23・5395
農業者に対する融資相談や営農・就農相談	農政課 TEL23・5122
生活相談全般、多重債務	生活環境課 TEL22・4140
市営住宅などに関する相談	住宅課 TEL23・5176
外国籍市民相談及び通訳	市民課 TEL23・5334
生活困窮や生活保護などに関する相談	福祉課 TEL23・5372
母子・父子家庭などの相談	子育て・子育て支援課 TEL23・5106
保育料、一時保育など保育園・幼稚園に関する相談	保育課 TEL23・5132
市税等の納税に関する相談	収納管理課 TEL23・5117
国民健康保険、国民年金に関する相談	国保年金課 TEL23・5118
就学援助に関する相談	学校教育課 TEL23・5101
市の臨時職員雇用に関する相談	人材開発課 TEL23・5332

当面は厳しい経済情勢が予想されますが、市では引き続き地域の雇用を守る取り組みを全庁体制で実施していきます。また、市民の皆さんからの、雇用創出に関するアイデア・提言もお待ちしています。

新公民館・解放会館が先行オープン！

まちづくり活動の拠点となる塩田地域自治センターを建設中

昨年7月に着工した、同センター整備事業の一期工事が3月末に終了し、4月から塩田公民館・解放会館部分の使用が可能となります。

4月4日(日)は利用者団体によるこけら落としと見学会を予定。4月5日(月)～9日(金)までは点検調整のための仮オープン期間とさせていただきます、4月10日(土)から本使用を開始します(施設利用予約は3か月前から受け付けます)。詳しくは塩田公民館へお問い合わせください。

なお、引き続き地域自治センター部分の二期工事が継続されます。しばらく、駐車場の不足や、工事等で利用者や近隣の皆さんにご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。全体の完成は平成23年3月の予定です。

☎ 塩田公民館・塩田解放会館 TEL38・6883



塩田地域自治センター 完成予想図

国道18号上田坂城バイパスが開通！

これに伴い千曲川右岸堤防仮設道路を閉鎖します

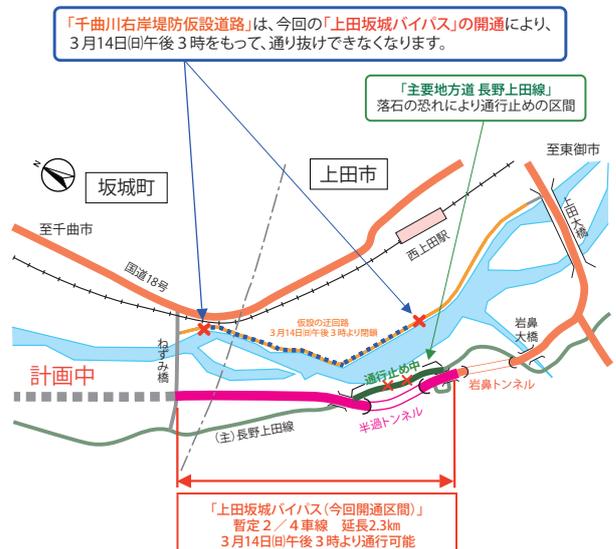
国道18号上田坂城バイパスは、上田市街地における国道18号の交通渋滞の緩和、交通安全の確保を目的とした、上田市上塩尻～埴科郡坂城町南条の延長4.9kmの道路です。

今回、上田市小泉～坂城町南条の2.3kmが3月14日に開通し、当日は午後3時より通行が可能となります。

これに伴い、これまでご利用いただいていた千曲川右岸堤防仮設道路の一部区間が閉鎖となり、上田大橋からねずみ橋区間の通り抜けができなくなります。ご了承ください。

- 開通・閉鎖日時** 3月14日(日)午後3時～
- 開通区間** 国道18号上田坂城バイパス
(上田市小泉～坂城町南条の2車線/2.3km)
- 閉鎖区間** 千曲川右岸堤防仮設道路
(上田大橋～坂城町ねずみ橋の一部区間)

☎ 地域交通政策課 TEL23・5011



「千曲川右岸堤防仮設道路」は、今回の「上田坂城バイパス」の開通により、3月14日(日)午後3時をもって、通り抜けできなくなります。

「主要地方道 長野上田線」
落石の恐れにより通行止めの区間

「上田坂城バイパス(今回開通区間)」
暫定2/4車線 延長2.3km
3月14日(日)午後3時より通行可能

時代を切り拓く

第3回「シリーズ文化講演会」

シリーズ文化講演会の最後を飾る今回は、現在放送中のNHK大河ドラマ「龍馬伝」の脚本家・福田靖さんをお迎えします。

大河ドラマ「龍馬伝」の脚本執筆や、制作の舞台裏、ドラマ作りなどについてお話いただきます。

あわせて、坂本龍馬や、またその龍馬の盟友であり上田にもゆかりのある三吉慎蔵に関する資料の展示もあります。ぜひ、ご来場ください。

- 日時** 3月20日(土)午後2時～3時45分(1時30分開場)
- 場所** 上田文化会館ホール及び展示室
- テーマ** 「龍馬伝の楽しみ方」
- 講師** 福田靖氏(脚本家)
- 定員** 500名
- 入場料** 無料
- 申し込み** 不要

問 市文化振興課 TEL23・6361



大河ドラマ



福田靖さん
1962年、山口県生まれ。劇団主宰を経て、1996年「BLACK OUT」で脚本家デビュー。主な作品はTVドラマ「HERO」「救命病棟24時」「海猿」「ガリレオ」「CHANGE」、映画「催眠」「陰陽師」「HERO」「20世紀少年」など。NHKでは、ドラマ「R.P.G」「トキオ」「上海タイフーン」を執筆。

「おまちどおさま」

矢野顕子出前コンサート2010in上田

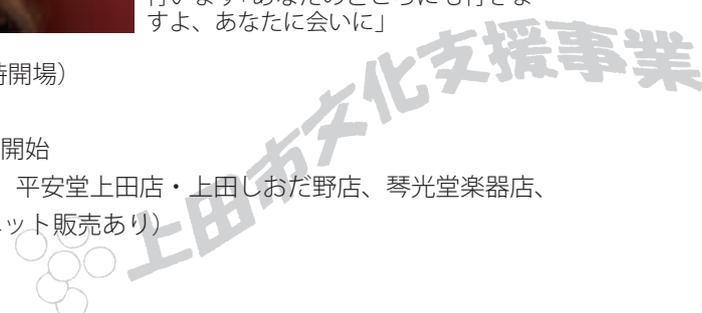


10年ぶりとなる弾き語りアルバム「音楽堂」を2月10日発売した、ニューヨーク在住のシンガーソングライター・矢野顕子さんが、上田で初のピアノ弾き語りコンサートを開催します。詳しい情報は「おまちどおさま」(特設ブログ<http://blog.goo.ne.jp/2010delivery>)をご覧ください。

矢野顕子さん
「おいでよって誘われたからいくのです」のスタイルで、出前コンサートを行います「あなたのところにも行きますよ、あなたに会いに」

- 日時** 5月15日(土)午後6時30分開演(6時開場)
- 場所** 丸子文化会館セレスホール
- チケット** 全席指定4,800円 3月3日(水)発売開始
- 販売窓口** (財)信州国際音楽村、丸子文化会館、平安堂上田店・上田しおだ野店、琴光堂楽器店、音楽工房カエルブルウ(インターネット販売あり)

問 (財)信州国際音楽村 TEL42・3436



お知らせ

人工透析のための
通院費助成制度

人工透析のために通院する交通費を一部助成します。

●対象 市内在住で、片道2km以上の距離を通院して人工透析を受けている方。ただし、市税に滞納がない方。

●対象期間 平成21年10月～22年3月

●申請方法 3月16日(火)までに福祉課、または丸子・真田・武石地域自治センター健康福祉課へ必要書類をご請求ください。郵送もできます。

☎ 福祉課 TEL23・5158

重度心身障害者の
タクシー利用料を助成

●対象 ①～⑤にすべて該当する方。①市内に住所を有する方、②療育手帳A1の方、身体障害者手帳・下肢または体幹機能及び視覚障害1級・2級の方、③世帯全員の平成20年所得税額の合計が2万1000円以下の方、④自動車税または軽自動車税の減免を受けていない方、⑤市税に滞納がない方

●助成額 利用1回につき迎車料金を含み880円

●利用回数 最大で年24回(4月から助成を受けた場合)

●申請方法 申請書類に必要事項を記入のうえ、福祉課または丸子・真田・武石地域自治センター健康福祉課へ(平成21年度受給者には、申請書を送付します)。

※4月からの助成を希望する方は3月26日(金)までにご提出ください。

☎ 福祉課 TEL23・5158

室賀温泉さららの湯
増築工事のため臨時休館

露天風呂増築工事のため、4月1日(木)～8日(木)までの8日間が臨時休館となります。

なお、5月のゴールデンウィーク以降に、再度臨時休館を予定しています。

☎ 室賀温泉さららの湯 TEL31・1126

コミュニティ助成事業
助成金で太鼓などを購入

(財)自治総合センター所管の宝くじ助成金を受け、浦野自治会では太鼓半纏、旗などを購入しました。同自治会では今後、伝統芸能の練習に励み地域のお祭りやイベントで活動するなど、地域の文化振興や活性化に活躍することが期待されます。



☎ 生涯学習課 TEL23・6370

森林整備入札参加申請の
追加受付

平成22年度に上田市が発注する森林整備業務の入札に参加を希望する方は、入札参加申請書を提出してください。募集要項・申請書類などは、

今月の表紙



わら馬を引いて道祖神参り

武石保育園で2月12日、初午引きが行われました。

この日はとても寒く、雪も降るあいにくの天気でしたが、園児たちは武石公民館前の道祖神まで台車に乗せたわら馬を「よいしょ！よいしょ！」と元気いっぱい引いて歩いて行きました。道祖神に着くと無病息災や交通安全をお祈りし、保育園に戻ってからお団子を食べました。

わら馬はあらゆる災いを背負い、天へ駆け登ると伝えられています。今年もみんな健康で元気に過ごせる1年になりそうです。

<広告欄>

あおやぎ眼科

AOYAGI EYE CLINIC

眼科各種手術 ●入院設備あります ●駐車場30台
(白内障・緑内障・網膜剥離術・硝子体切除術・眼瞼内反症・眼瞼下垂症 等)

〒386-0002 上田市住吉577
(マツヤ上田インター店前)

TEL.0268(28)6688

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～12:00	×	○	○	○	○	○
午後2:30～5:00	○	手術	○	手術	手術	×

休診日
日曜・祝日・月曜午前・土曜午後
火曜午後(手術)・木曜午後(手術)
金曜午後(手術)

お知らせ

行政チャンネルが 県広報コンクールで 奨励賞に

このほど、長野県市町村広報コンクールの結果が発表され、上田市行政チャンネルが広報映像の部で3番目に当たる奨励賞を受賞しました。受賞の対象になったのは、平成21年8月13日から1週間放送した「世界に響け!サマーウォーズの里うえだ・上田を元気に!立ち上がる市民」です。上田市ホームページでご覧いただけます。

☎ 市秘書課 TEL23・5149



催し

丸子公民館作品展 「みんな発展途上展」

今年度開講した教室の作品展示及び発表や体験教室などを行います。

●日時 3月12日(金)～14日(日)午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)

●場所 丸子文化会館大会議室・展

☎ 市契約課 TEL23・5257

契約課窓口での配布のほか、上田市ホームページに掲載しています。なお、昨年度登録した方は不要です。

●有効期間 平成22年4月1日～23年3月31日(1年間)

●受付期間 3月1日(月)～12日(金)

(郵送の場合は最終日必着)

●提出先 市役所西庁舎2階の契約課へ(〒386-18601/住所不要)。

示室

●内容 展示・教室/パッチワーク、お手玉遊び(13日午後2時～3時に発表と体験教室)、バーニングアート(12日・13日午後2時～4時と14日午前10時～正午に体験教室/材料費300円)、ボードウィービング(実演あり)。
詳しくは丸子公民館へ。

☎ 丸子公民館 TEL42・3147

蚕都上田近代化産業 遺産めぐり群馬編

文化庁の世界遺産暫定リストに選定された群馬県の「富岡製糸場と絹産業遺産群」を見学し、蚕都上田とのつながりや広がりを検証します。

●日時 3月27日(土)午前8時～午後6時(長野大学体育館横駐車場へ)

午前7時45分に集合。雨天決行)

●場所 富岡製糸場、群馬県立絹の里ほかを見学予定

●定員 35名

千曲川流域学会 第3回大会

今回のテーマは、「信州別所温泉から観光まちづくりを考える」。個人研究発表、トークセッション、シンポジウムなど、盛りだくさんの内容です。

●日時 3月13日(土)午前8時30分～午後4時30分

●場所 別所温泉あいそめの湯ホール

●基調講演講師 小泉大輔氏(飯山市観光協会主任)

●コーディネーター 三田育夫氏(長野大学環境ツーリズム学部教授)

●参加費 1000円(ただし、当学会会員及び別所温泉地区自治会住民は無料)

☎ 千曲川流域学会事務局(竹内)

TEL/FAX 38・7771

●参加費 1000円(入館料を含む)

●持ち物 飲み物、昼食

●申し込み 3月24日(水)午後5時までに、電話またはFAXで蚕都上田プロジェクト事務局へ。

☎ 蚕都上田プロジェクト事務局

TEL/FAX 38・7771

<広告欄>

太陽にまっすぐな家

設計の匠 職人の匠。住まいづくりのプロ集団が
住まうためにまっすぐ三十五年

人に地球にやさしい未来への住まい

陽なたの家

- ★信州型エコ住宅(ふるさと信州・環の住まい)
- ★県産材の家(体中のみさ・遠山杉・信州赤松・信州曲松)
- ★長期優良住宅・長期優良住宅先導的モデル(全建連)対応住宅
- ★CASBEEすまい最高等級の家(建築物総合環境性能評価システム)
- ★自然エネルギー利用の家(OMソーラー・太陽光発電)

開館日: 平日 AM10:00～PM3:00
土曜・日曜日 AM10:00～PM5:00
上記時間外でもご連絡いただけましたらご案内致します。

長野県が募集をした「地域住宅モデル普及推進事業」応募をし当社が提案した「信州OM・環の住まいモデルハウス」が採択され、県の補助金対象として、オープンしたモデルハウスです。

陽なたの家

うららの家 ■ 秋和温泉様
上田 バイパス 至 上田市街
ファミランセ 至 上田市街
えぼし様 レストラン ラ・ホーム様
西友様 長野計器様
至 長野方面 至 塩田方面 長野新幹線

美し信州建設 株式会社
TEL 0268-27-6667
上田市中条268-1 FAX0268-27-6672
http://www.sinshuu.co.jp

「つながるいのちのお話と映画」の会

絶滅を危惧される生き物たちが暮らす自然の宝庫・山口県上関の海。その海が原子力発電所建設のために埋め立てられようとしています。上関の自然とそこに住む人々の生活を追ったドキュメンタリー映画「ぶんぶん通信No.2」の上映と、滋賀県立大学環境生態学科・野間直彦講師のお話をお聞きします(わがまち魅力アップ応援事業)。

- 日時 3月22日(月・祝)午後2時～4時45分(終了後交流会開催)
- 場所 HALUTA3階ホール(海野町)
- 参加費 一般800円、高校生以下400円
- 申し込み 前日までに電話で。
- 託児 3月17日(水)までにご予約ください(無料)。
- 六ヶ所会議inうえだ(藤川)
TEL 080・5146・9937

信州国際音楽村 すいせん祭り2010

音楽村の春の風物詩「すいせん祭り」では、切り花などの販売のほか各種イベントを随時開催します。詳細は音楽村ホームページ、電話でご案内します。

- 期間 3月下旬～4月中旬(開花状況に合わせ開催)

- 場所 信州国際音楽村すいせん畑
- 入園料 無料
- その他 ボランティアスタッフを募集します(1日だけの参加でも歓迎)。申し込みは音楽村まで。
- (財)信州国際音楽村
TEL 42・3436

城下町上田の魅力再発見 第9回弥生ウォーキング

- 日時 3月27日(土)午前10時スタート(9時30分受付開始。上田城跡公園下駐車場集合)
- 内容 歩かなくてはみつかからない歴史探訪ウォーキング(12km)
- 参加費 小中学生・ウォーキング協会員500円、一般1000円
- 持ち物 昼食、飲み物、雨具、帽子、タオル、防寒着など。
- 申し込み 電話で上田ウォーキング協会事務局へ(当日受付も可)。
- 上田ウォーキング協会事務局(上田スター商会内)
TEL 35・0246

くるま座語り芝居

琴・鳴り物など一人で演奏しながらの、ひとり芝居をお楽しみください。

- 日時 3月13日(土)午後6時30分開演(6時開場)
- 場所 上田情報ライブラリーことばの繭ホール

- 出演 中西八枝氏(劇団くるま座所属)
- 演目 「東北のズンムたち」深沢七郎原作、くるま大八脚本
- 定員 70名
- 料金 大人1000円(当日1200円)、高校生以下無料
- 申し込み 電話で上田情報ライブラリーへ(TEL 29・0210)。
- 上田図書館倶楽部
TEL 25・3115

真田図書室 おはなし広場

- 「たまた箱」の皆さんによるパネルシアターをお楽しみください。
- 日時 3月20日(土)午前10時～11時
- 場所 真田公民館図書室児童図書室
- 真田公民館図書室
TEL 72・2200(内線559)

丸子金子図書館 おはなし会

- 図書館職員による絵本の読み聞かせなどをお楽しみください。
- 日時 3月20日(土)午前10時30分～
- 場所 丸子金子図書館2階
- 丸子金子図書館
TEL 42・2414

引越しシーズンです。粗大ごみの処分など、すぐ相談

上田工場は土日・祝日 休まず営業! 持込歓迎

上田市材木町 : 22-5353
上田市東内 : 43-0053

小柳産業(株)

<広告欄>

ふれあいさなだ館 歌謡・フラダンスショー

相澤めぐみさんの歌謡ショー、宮原教室の皆さんによるフラダンスショーをお楽しみください。

- 日時 3月24日(水)午後0時30分
- 場所 ふれあいさなだ館大広間 (入館料必要)
- 真田温泉ふれあいさなだ館 TEL 72・2500

スプリングコンサート 2010

高校生と卒業生によるビッグバンド・ジャズ・ライブをお楽しみください(入場料無料)。

- 日時 3月21日(日)午後2時開演 (1時30分開場)
- 場所 上田市民会館大ホール
- 場科高校ジャズクラブ(齋藤) TEL 090・7229・0693

講座・教室

春休み企業見学会

ものづくりへの関心を高めたり、地元企業を身近に感じ、将来の就職やUターンなどに役立てていただくため、地元地域の製造業4社の協力により企業見学会を開催します。

●期日/会社名

- 3月19日(金) ①エスビー食品(株)
- 3月24日(水) ②日置電機(株)、③(株)松山
- 3月25日(木) ④(株)ミマキエンジン

- 時間 ①②午前9時30分～11時30分、③④午後2時～4時
- 定員 ①②③各30名、④16名(いずれも先着順)
- 対象 小学3年生～大学生(小学生は必ず保護者同伴)
- 参加費 無料
- 申し込み 3月9日(火)以降、商工課または上田市ホームページに掲載の応募用紙を商工課へ。
- 商工課 TEL 23・5395

ものづくり ジュニアフォーラム

子どもたちにもものづくりへの興味や関心を持ってもらったり、地元企業の新製品・新商品に触れてもらう、「学ぶ時間」「体験する時間」を設けます。

- 期日/テーマ(内容)
- 3月20日(土) 「夢のものづくりチャレンジ教室」楽しい工作と自由研究「グループに分かれて工作などを行います。」
- 3月23日(火) 「新商品・新製品開発に触れよう!」企業の担当者や大学の先生が製品・商品について分かりやすく解説。信大繊維学部内の見学もあります。

- 時間 午後1時30分～4時
- 場所 AREC(信州大学繊維学部構内)4階
- 定員 各60名(小学3年生以上、保護者含む。両日の参加も可)。
- 参加費 無料
- 申し込み 3月9日(火)以降、商工課または上田市ホームページに掲載の応募用紙を商工課へ。
- 商工課 TEL 23・5395

ごみ減量化学習会 EMセレス勉強会

EM菌を使って生ごみのたい肥化やごみの減量化、無農薬野菜作りを学びます。

- 日時 3月26日、4月16日、5月14日、6月11日、7月9日、9月10日、10月8日、11月5日の金曜日、午後1時30分～3時(11月5日のみ午前10時～午後1時)
- 場所 丸子文化会館大会議室
- 内容 ボカシ1型2型の作り方(実地)、EMボカシを使った生ごみ、たい肥の作り方、畑の土作り、病害虫対策(ストチュウの作り方と使用方法)、米のとぎ汁発酵液の作り方(使用方法)、来年に向けての土作りの方法など。
- 申し込み 不要。どなたでも参加できます(参加費無料)。
- EMセレスの会(田中) TEL 42・0456

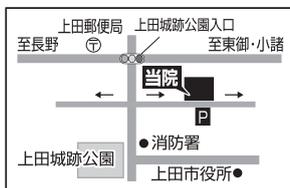
<広告欄>

医療法人三折堂 宮下 医院 神経内科・内科・胃腸内科

〒386-0023 長野県上田市中央西1-15-12
TEL 0268(22)4328 FAX (26)8231

- 理事長/宮下美生 消化器病専門医(日本消化器病学会認定)
- 院長/宮下暢夫 神経内科専門医(日本神経学会認定)

診療時間 午前 9:00～12:00
午後 3:00～6:00
休診日 土曜午後・日曜・祝日



神経内科

※初診の方はなるべく予約をおすすめします。

頭痛・めまい・しびれ・ふるえ・歩行障害・認知症などを来たす脳神経系の病気を診断し、内科的に治療する科です。

主要設備

オープン型MRI、超音波検査装置(腹部一般、頸動脈エコー)、胃・大腸内視鏡、レントゲン、筋電図検査装置等

山本鼎記念館美術教室 平成22年度受講生募集

山本鼎に関係する版画、洋画、農民美術(木彫)を学べる講座です。未経験者も基礎から学ぶことができます。

- 受講期間 4〜7月と9〜12月の毎月2回(全16回)
 - 時間 午前9時〜正午、あるいは午後1時〜4時
 - 場所 山本鼎記念館1階講習室
 - 募集教室(対象) 洋画A(初心者)、洋画B(3年くらいまでの経験者)、木彫A(初心者)、木彫B(3年くらいまでの経験者)、版画(初心者と3年くらいまでの経験者)
 - 受講料 4000円(16回分。開講日当日徴収。道具代・材料代は別途要)
 - 定員 各20名(先着順)
 - 申し込み 3月18日(木)〜25日(木)に、電話またはFAXで記念館へ(23日・24日は休館)。
- 山本鼎記念館
TEL/FAX 22・2693

文学講座 芥川龍之介の世界

大正文学を代表する作家・芥川龍之介。その作品は近代日本文学の古典として評価されています。数奇な運命を生きた芥川は創作に何を託したのか。代表作を解説しながら芥川

独自の世界に分け入ります。

- 日時 4月10日(土)、5月8日(土)、6月12日(土)、7月10日(土)、8月7日(土)、9月11日(土)の午後1時〜3時(全6回)
 - 場所 上田駅前ビル・パレオ2階会議室
 - 講師 相馬正一氏(岐阜女子大名誉教授)
 - 定員 先着50名
 - 教材 岩波文庫「羅生門・鼻・芋粥・偷盗」地獄変・邪宗門・好色・藪の中 他七篇」「河童 他二篇」の3冊(初回講座に販売あり。希望者は受講申し込み際、お申し出ください)。
 - 参加費 5000円(6回分、初めに徴収)
 - 申し込み 3月6日(土)以降、電話で上田情報ライブラリーへ(TEL 25・0210)。
- 上田図書館倶楽部事務局
TEL 25・3115

上田萬画大学2010 春休み萬画セミナー

- 期日 3月20日(土)〜22日(月・祝)・25日(木)の計4日
- 場所 マルチメディア情報センター
- コース(定員)／内容など ①デジタルマンガコース(定員20名)／プロのマンガ家の指導でマンガ制作、②デジタルアニメコース(定員10名)／プロのアニメクリエイターの指導でデジタルアニメーション制作

員10名)／プロのアニメクリエイターの指導でデジタルアニメーション制作

- 対象 小学4年生〜高校生
 - 参加費 5000円
 - 募集締切 3月15日(月)必着
- 応募方法など、詳しくは電話またはマルチメディア情報センターホームページをご覧ください。
- マルチメディア情報センター
TEL 39・1000

種から育てる 花づくり講習会

- 日時 3月16日(火)午後1時30分〜4時
 - 場所 別所温泉あいそめの湯ホール
 - 内容 花の特徴について、上田に適した花づくりについて。
 - 講師 武田正男氏(上田市農業バイオセンター)
 - 申し込み 3月12日(金)までに電話で公園緑地課へ。
- ※駐車場が狭いので相乗り、または別所線のご利用をお願いします。
- 公園緑地課 TEL 23・5134

第6回ひきこもり 家族教室

今回はよりよいコミュニケーションがとれるように、対応の仕方を話し合いながらディスカッションなど

<広告欄>

長野県民共済

共済取扱団体 / 長野県認可 長野県民共済生活協同組合
共済元受団体 / 厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会 <http://www.kyosai-cc.or.jp/>

営利を目的としない助けあいの制度

**① 共済金を
真っ先に**

何よりまずは共済金。お支払いを最優先にしています。

**② コストは
抑えて**

経費を必要最小限にするため、低コストの運営に徹しています。

**③ 剰余金は
割り戻し**

剰余金は割戻金としてご加入者へ公平にお戻ししています。

※掛金の口座振替については左の金融機関から、いずれか一方をご指定ください。※ゆうちょ銀行の窓口ではお申し込みいただけません。

資料請求はとっても簡単!

長野県民共済

www.nagano-kyosai.or.jp/

■受付時間/平日9時〜17時

[上田] ☎ 0268-24-3985(代)

〒386-1104 上田市福田下田9-33 FAX 0268-24-3902

携帯サイトのバーコード
<http://kyo-sai.jp/nagano/>

SBCラジオ 県民共済提供[YESI]
県民共済 聞いてなるほど! 毎週
日曜日18:05〜(約55分間)放送

みんな仲よし 泉田の子どもたち

～懐かしい木造園舎とはもうすぐお別れです～

泉田保育園

のどかな田園と住宅地に囲まれた泉田保育園は、昭和37年に開園という古い歴史を持っています。現在、1歳から6歳まで40名ほどの子どもたちが通園していますが、年齢の枠を超えてどの子どもみんな仲よしです。

冬には、園舎裏の田んぼ道で、全園児そろってマラソンをすることが日課となっています。年長児が小さいクラスの友だちを気遣いながら走る姿や、小さい子が大きいお兄さん・お姉さんたちと互角に競い合おうとする様子は何ともほほえましく、また、全員がゴールするまで応援したり、途中まで迎えに行ったり、最後はみんなで田んぼ道に大の字になって寝転ぶ光景は、冬の寒さの中でも本当に気持ちがほんわりと温かくなります。

50年近く子どもたちを包んでくれた木造園舎も老朽化が進み、平成23年度



思い出の詰った古い歴史ある木造園舎

には泉田・小泉保育園を統合した保育園が誕生する予定です。開園当初より地元地域の皆さんには、子どもたちの生活や遊びにたくさんのお力添えをいただききました。野菜の種まきや苗植えを教えてください「ときわ会」の方、お花摘みを経験させてくれる花農家の方、絵本の読み聞かせという宝物のような時間をくれる「ざしきわらしの会」の方や、節目の行事には忙しい中駆けつけてくれる自治会長さんや民生委員などの地域の皆さん。これからも地域の皆さんに温かく見守られながら、子どもたちはたくさんの思い出が詰まった保育園と、この園舎で過ごす残り1年ほどの日々を大切にしていきます。



冬の田んぼ道で
元気にマラソン

KINDERGARTEN INTRODUCTION

- 日時 3月23日(火)午後2時～4時
(1時30分受付開始)
- 場所 勤労青少年ホーム
- 講師 宮崎まさ江氏(長野大学社会福祉学部社会福祉学科准教授)
- 対象 上田市民
- 定員 30名

を行う家族SST(社会生活技能訓練)を行います。

- 申し込み 3月19日(金)までに電話
で健康推進課へ。
- 健康推進課 TEL 23・8244
- 日時 4月14日～7月7日の水曜日、午後7時～9時(全11回)

スポーツダンス教室 初心者クラス(前期)

- 申し込み 4月5日(月)までに体育協会、または体育課へ。
- 参加費 3000円(教室初日に徴収)
- 定員 60名
- 内容 社交ダンス
- 場所 上田城跡公園第二体育館
- 局(五味) TEL 27・8574

<広告欄>

ROUTE INN GROUP

菅平高原 奥ダボススキー場

この広告をご持参下さい
広報うえた
限定特典

当スキー場内(クライングフォックス)にて
ソフトドリンクをプレゼント!!
*この広告ご持参の方、お一人様1杯限り(期間)今シーズン限り

★詳しい情報はコチラから… <http://www.ski-davos.jp> お得な情報が満載です!!

ご利用無料

千ピッコパーク

ソリ、チューブ すべて無料!!
家族みんなで楽しめます!!
ソリ、チューブ、雪山、ブランコなど
いろいろ楽しめて大満足!!
大人もチューブを楽しめます!!

ソリあるよ!
レンタル無料!

菅平高原 奥ダボススキー場 上田リゾート観光(株)
〒386-2204 長野県上田市菅平高原1223-3307 ☎0268-74-3009

SUGADAIRA
スノーキャット
初登場

4kmのダウンヒル

雪上車に乗って
根子岳ツアー!!

ヘリで行ったあの場所へ
今年スノーキャットで!!

毎月第3日曜日は
小学生以下のお子様限定!!
スキー「子供の日」
当日リフト券無料!!

募集

市民農園の利用者を募集

市内に点在する市民農園の空き区画について、新規利用者を募集します。

●募集地区／区画数

地区	所在	区画数
常磐城	上田警察署付近	5
諏訪形	浄水場付近	4
下之条	上田大橋南側付近	3
新田	染谷丘高校付近	2
岡、室賀	ひばりヶ丘団地南側	2
岩門	岩門公民館北側	1
上田原	南小学校付近	1

●利用料 1区画(約100㎡)年間5000円

●申し込み 3月17日(水)までに農政課へ。

●抽選会 3月25日(木)午後6時から農政課窓口にて(応募多数の場合のみ)。

●詳しくはお問い合わせください。
 市農政課 TEL 23・5122

上田城千本桜まつり
市民ボランティア募集

●期日と業務内容

① 4月5日(月)～25日(日)開催の上田城千本桜まつりにお越しの皆さんへ、上田城跡公園周辺で案内チラシの配布など。

② 4月10日(土)開催の「城灯りの景」で行灯の配置・片付けなど(団体での申し込みも歓迎)。

③ 4月17日(土)開催の「上田真田まつり」で武者行列隊の誘導など。

●応募方法 3月26日(金)までに、電話またはメールで住所、氏名、年齢、電話番号、希望する業務を観光課へ。

●上田城千本桜まつりプロジェクト事務局(市観光課内)

TEL 23・5408



平成22年度交通災害共済
会員の募集

これまで市民の皆さんに加入いただいていた上田市交通災害共済は5

月31日で終了し、来年度から長野県民交通災害共済になります。万一の場合に備えて加入しましょう。

●会員期間 平成22年4月1日～23年3月31日(中途加入の場合は、会費納入の翌日から)

●会費 1名400円

●加入方法 3月中旬ごろまでは自治会を取りまとめているほか、随時、生活環境課または各地域自治センターで受け付けています。小中学生は団体加入(会費/100円)になるので、学校を通してお申し込みください。

●その他 見舞金請求の際の窓口(生活環境課、または各地域自治センター)は、今までと変わりありません。

●市生活環境課 TEL 22・4140

農家のお手伝いさんを募集します

農家のお手伝いさん(アグリサポーター)の募集説明会を開催します。

農業に興味のある方(未経験者歓迎)、余暇を生かして農作業をしてみたい方は、お気軽にご参加ください。

●日時 3月23日(火)午前10時～

●場所 JA農産物流通センター会議室
 詳しくはお問い合わせください。
 市農政課 TEL 23・5122

市農政課 TEL 23・5122

<広告欄>

山浦内科クリニック

Yamaura Medical Clinic

内科・腎臓内科・糖尿病内科・アレルギー内科・漢方内科

特定検診・人間ドック・企業検診・特定業務従事者検診

22年4月より水曜日も診療いたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	●	●	●	●	●	●
午前 15:00~17:45 <small>(19:00まで)</small>	●	●	/	●	●	/

上田市長瀬 3441-4

TEL0268-71-0170

日本腎臓学会専門医 日本アレルギー学会専門医
日本東洋医学会漢方専門医

院長 山浦 修一

併設/山浦労働衛生コンサルタント事務所
 産業医受託・研修会、講演会受託・労働衛生問題のコンサルテーション・海外赴任者への健康管理

菅平高原スキークラブ

親子でスノーシューツアーが
楽しめるコースを設定しています。

大日方孝さん おびなた・たかし

白銀の世界が広がる菅平高原。晴天率が高く、良質のパウダースノー(粉雪)も楽しめるスキー場として知られています。

その菅平高原で3月28日、スノーシューフェスティバルが行われます。スノーシューとは雪の上を楽に歩くための歩行具で、「西洋」かんじきのことです。近年では、雪上を歩き、自然に親しむことを目的としたツアーが各地で行われています。

今回のフェスティバルは、菅平高原スキークラブが中心となり、実行委員会を組織し、市内外に参加を呼びかけているものです。コースは、奥ダボスのゲレンデから根子岳の中腹へ向かう、片道約2km。親子で楽しめるコースの設定になっています。



菅平高原スノーシューフェスティバルは、「アルプスを眺めながらのんびりクロスカントリー」事業として昨年度、わがまち魅力アップ応援事業(特色あるまちづくり応援事業)の採択を受けました。昨年度の開催では約30人が参加し、市内の参加者が多かったそうです。2年目となる今年度は、スノーシューツアーが楽しめる、すばらしいフィールドが菅平高原にあることを更にPRしようと、県外からの参加の呼びかけも行っています。ツアーのお問い合わせは、菅平高原観光協会(TEL74・2003)へ。

実行委員会
の事務局
を務める菅
平高原観

「ストックを手に歩くところは、ノルディックウォーキングと同じですが、スノーシューには違った楽しさがあります。ノルディックウォーキングを愛好されている方にも、参加していただけたらうれしいですね。」

光協会の大日方孝さん(写真下)は、「日本ではないような、感動の景色が見られる広大な雪原を歩きます。北アルプスが一望できるところまで登りますので、晴れてくれればいいですね」と話します。



わがまち魅力アップ応援事業を紹介するコーナーです。

<広告欄>

上田佐久 債務整理 相談センター



認定司法書士
塩川洋昌

過払請求: 払い過ぎた利息を取り戻したい!
任意整理: 借金を減額させたい! など借金問題

借金問題の無料相談実施中

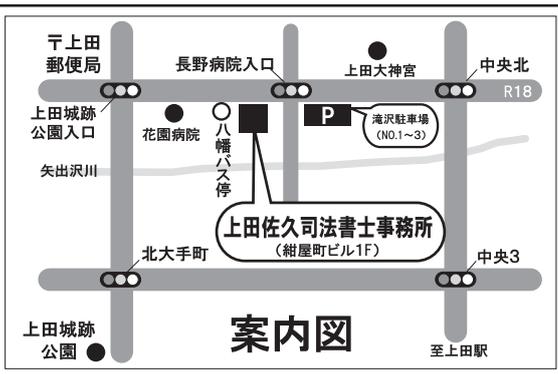
0120-112-489

営業時間 9:00~19:00 土曜・夕方相談も可能です

上田佐久司法書士事務所 TEL0268-71-0485

長野県上田市中央西1-15-34紺屋町ビル1階

※長野病院入口信号すぐ側 ホームページ有り



有料広告掲載のお問い合わせは、上田市秘書課(TEL23・5149)または株式会社日広(TEL24・1211)へ。



伝統文化に触れる。学ぶ。

四ツ葉

スケッチ



真田地域の戸沢地区で2月8日、国の無形文化財に指定されている「戸沢のねじ行事」が行われました。

「ねじ」は、蒸して色付けした米の粉で餡を包んだお供え物で全国的にも珍しいものです。毎年この日にわら馬を引いて道祖神にお参りし、ねじを供えてわが子の無病息災を祈ります。

朝8時、集落の中央付近にある道祖神を20組ほどの親子が訪れました。この行事を撮影しようと、今年も多くのカメラマンが訪れました。

また、ねじを広く知ってもらおうと、ねじづくりの講習会が保存会の皆さんにより毎年開催され、今年も長小の2年生23名が、一般参加者と一緒にねじづくりを体験しました。子どもたちは葉っぱや魚など、思い思いのねじを作りながら地域に伝わる伝統文化に親しみました。

戸沢自治会では市のわがまち魅力アップ応援事業補助金を受け、「ねじとわら馬の里」をキャッチフレーズに、地域の文化や歴史を伝承していく活動を通じた地域の活性化に取り組んでいます。



青少年ネットワーク会議

丸子地域小中高全7校で取り組み

2月4日の会議には約50人の子どもたちが参加し、グループに分かれて1年間の活動の反省点や、課題について話し合いました。ペットボトルのふたの回収活動では「地域への呼びかけの必要性を感じた」、あいさつ運動では「小・中・高の交流ができて良かった」「来年も続けていきたい」などグループごとの意見を発表し合い、来年度の活動に向けた有意義な会議となりました。



ン活動「ボランティア活動」の三つを活動の柱に取り組んでいます。

今年度は、ペットボトルのふた約30万1200個を回収し、ふたの売却益で途上国の子どもたち一人分の寄付を行いました。

丸子地域の西内小学校、丸子中央小学校、丸子北小学校、塩川小学校、丸子中学校、丸子北中学校、丸子修学館高校の児童・生徒で構成する「青少年ネットワーク会議」は、地域と学校を良くしたいと平成16年に結成。「あいさつ運動」「クリーン活動」





男女共同参画コンサート

ひとひと 女と男が支え合う地域を目指して

2月11日に武石公民館で、狭間壮さん、狭間由香さん、室賀さえりさんによる男女共同参画コンサートが開催され、地域内外から約100人が来場し、すばらしい音楽を鑑賞しました。

声楽家の狭間壮さんは、33歳の時に交通事故が原因で車いす生活となってしまうましたが、精力的に音楽活動を続け、多くの人々に勇気を与えています。



このコンサートは、壮さんがテノール、室賀さんがソプラノ、壮さんの妻・由香さんがピアノ伴奏を担当した、男女、そしてご夫婦が力を合わせたステージです。

壮さんが、「まだまだ男性が役職の『長』となることが多いですが、今、さなぎの女性が、様々な『蝶』になって飛び立つ日が必ず来ます」と語りかけると、会場からは大きな拍手が沸き起りました。

「はるよこい」や「おぼろ月夜」など一度は聞いたことがある童謡・唱歌や、武石地域に馴染みのある「武石讃歌」「見よ美しいの歌」など、約2時間のコンサートに来場者は耳を傾けていました。

四ツ葉

スケッチ



市民コーラス・フェスティバル 450人が歌声を披露

市民コーラス・フェスティバル

1月31日、市民会館で開催された、わがまち魅力アップ応援事業「UCF2010第1回上田市民コーラス・フェスティバル」。IT開発地に建設予定の交流・文化施設について利用者の立場で提案をし、建設を推進していく「魅力ある新市民会館等の実現を考える会」が企画したもので、昨年4月から市内合唱団体が中心となり、市民からの参加も呼びかけ、練習を重ねてきました。

オープニングでは、軍手をはめた南小学校・北小学校の子どもたちと母袋市長がステージに立ち、会場と一体となって「手のひらを太陽に」を歌いました。

わらべ歌などの楽しいコーラス、男性合唱、女性合唱、パフォーマンスコーラス、混声合唱など、小学生から80代までの約450人の市民らが様々なジャンルで歌声を披露。満席の観客を魅了しました。

親子で参加した新增由香さんと亜実ちゃん。由香さんは、「子どもたちの声と私たちの声^{こぼれ}が溶け合っていく感じにすごく感動しました」と話していました。





やまぼうし自然学校が ふるさとの森林づくり賞で「県知事賞」を受賞 提供/NPO法人やまぼうし自然学校

1月15日、長野県庁で行われた「平成21年度長野県ふるさとの森林づくり賞」の森林環境教育推進の部で、NPO法人やまぼうし自然学校が長野県知事賞を受賞しました。この賞は、学校や地域での森林環境教育推進の取り組みに貢献のあった個人、団体、学校に贈られるものです。

やまぼうし自然学校は、「森でつながる いのちの わ」を基本理念に掲げ、距離のできてしまった森と人とを結ぶ活動を行っています。また、地域の子どもたちを対象に毎月行われている「森でモリモリ遊び隊」では、森の空間でアイデア満載の遊びを繰り広げ、どろんこになりながら、人を思いやる気持ちを自然と身につけていきます。そして、森林インストラクター養成講座で人材育成に力を入れるなど、森林環境教育推進の第一人者としての活動は他の模範となっています。

「2010年も、『おい森！講座』で指導者育成に力を入れます。森の楽しさを知る大人に見守られる子どもたちの森遊びは本物の原体験になるんです」と代表理事の加々美貴代さん。活動報告と講座・教室の募集は、同NPOのホームページで紹介しています。



人の動き

(平成22年2月1日現在)

人口：159,790人 男：78,168人 女：81,622人 世帯数：62,076戸 外国人登録者数：4,375人 男：2,057人 女：2,318人

